

□・BASF
We create chemistry

次世代防除もやっぱりコテツ
新芽害虫にすぐれた効果



チャノキイロアザミウマ



チャノミドリヒメコバイ



ヨモギエダシャク



カンザワハダニ



マダラカサハラハムシ(成虫)



チャトゲコナジラミ

難防除害虫に効く
コテツ[®]フロアブル

®=BASF社の登録商標

有効成分:クロロフェナピル…10.0%
毒 性:医薬用外劇物

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	*使用回数	使用方法
茶	チャノミドリヒメヨコバイ	2000	200~400	摘採7日前まで	2回	散布
	チャノキイロアザミウマ					
	カンザワハダニ					
	チャノナガサビダニ					
	チャノホコリダニ					
	シャクトリムシ類					
チャノココクモンハマキ						
マダラカサハラハムシ						
チャトゲコナジラミ						

■ : 太字の箇所は2018年10月24日現在、適用拡大事項。

その他の登録作物

りんご・もも・ネクタリン・おうとう・ぶどう・かき・なし・かんきつ・いちじく・小粒核果類・キウイフルーツ・マンゴー・ゴレンシ・ブルーベリー・あずき・豆類(未成熟)・きゅうり・うり類(漬物用)・すいか・にがうり・かぼちゃ(日本かぼちゃ)・トマト・ミニトマト・なす・ピーマン・とうがらし類・キャベツ・ブロッコリー・茎ブロッコリー・カリフラワー・メキャベツ・非結球メキャベツ・なばな・はくさい・非結球あぶらな科葉菜類・だいこん・かぶ・みょうが(花穂)・みょうが(茎葉)・いちご・ねぎ・オクラ・レタス・モロヘイヤ・あしたば・やまのいも・やまのいも(むかご)・かんしょ・はすいも(葉柄)・さといも・さといも(葉柄)・アスパラガス・ふき・ふき(ふきのとう)・てんさい・セルリー・にんじん・みつば・みしまさいこ・コリアンダー(葉)・エンサイ・やなぎたで・つるむらさき・しゅんぎく・しょうが・葉ごぼう・すいぜんじな・よもぎ・葉にんにく・つわぶき・せんきゅう・とうき・たらんき・はまぼうふう(葉)・うど・ほうれんそう・さんしょう(果実)・とうもろこし・ヤングコーン・食用プリムラ・食用金魚草・食用なでしこ・食用エキザカム・食用せんいちこう・食用トレニア・食用パンジー・食用ミニバラ・食用ぎく・きく(葉)・花き類・観葉植物・しきみ・みかん(温室・ガラス室等密閉できる場所)等

注意:ハチハチ乳剤と連続して使用する場合は、10日以上以上の散布間隔をあけてください。(薬害)

■特長

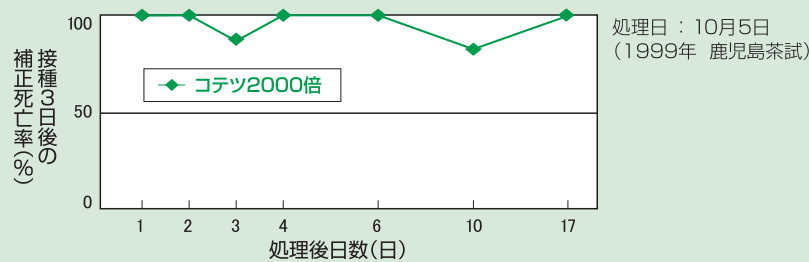
1. 既存の殺虫剤とは異なる独自の作用性を有します。
2. 幅広い害虫種に優れた効果を発揮し、害虫の同時防除が可能です。
3. 害虫のいずれの加害ステージにも効果を示します。
4. 抵抗性を発達させた害虫にも優れた効果を示します。
5. 摘採7日前まで使用できます。
6. カブリダニ(天敵)に対する影響が少ない薬剤です。
7. 茶以外の幅広い作物に使用できます。

■残 臭

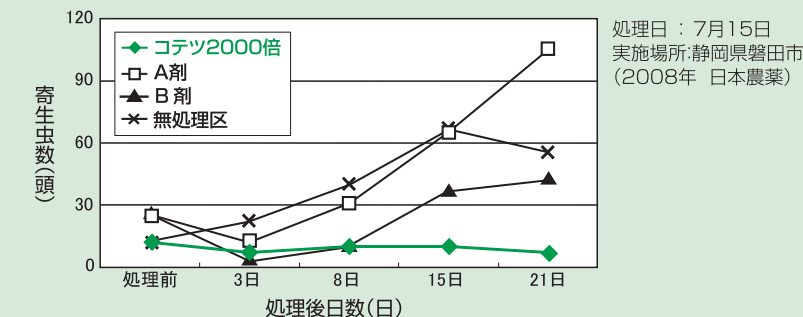
公的試験機関で残臭試験を実施し、残臭が無いことを確認しております。

■試験成績

茶園に散布した新芽を経時的に与えたマダラカサハラハムシ成虫に対する効果



チャノミドリヒメヨコバイに対する効果



△ 効果・薬害等の注意(抜粋)

- 使用の際は容器をよく振って、均一な状態にしてから所定量を取り出してください。
- 希釈の際は十分に攪拌し、均一に分散するよう調整してください。
- ボルドー液と混用する場合は凝集することがあるので、本剤を調整した後にボルドー液と混合してください。
- ハダニ類は繁殖が早く、密度が高くなるため防除が困難になるので、発生初期に散布むらのないように十分に均等に散布してください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調整してください。
- 植物体への浸透移行性がないので、かけ残のないように葉の裏面に十分に散布してください。
- ハダニ類・アザミウマ類は、抵抗性が発達しやすいので、作用性の異なる他の薬剤と輪番で、1作期1回の使用としてください。
- 周辺の作物(特にメロン・しそ)にかかると薬害を生じる場合があるので、薬液がかからないように十分に注意して散布してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ① ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
 - ② 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
 - ③ 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農協等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- マメコバチに影響があるので、受粉にマメコバチを利用する場合は、開花期での使用はさけてください。
- マルハナバチに影響があるので注意して使用してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないようにしてください。特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してください。

△ 安全使用上の注意

- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の担当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の担当を受けてください。
- 散布等の作業の際は、防護マスク・手袋・不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 密栓し、直射日光をさげ食品と区別して冷涼な場所に、カギをかけて保管してください。



水産動植物(魚類・甲殻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

- ★ 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ★ ラベルの記載以外には使用しないでください。
- ★ 小児の手の届くところには置かないでください。
- ★ 使用後の空容器等は面場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。
- ★ 防除日誌を記憶しましょう。

※この資料は2018年10月現在の知見に基づき作成したものです。

BASF ジャパン株式会社

〒106-6121 東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー 21階
☎ 0120-014-660 FAX 03-3796-9419 <https://agriculture.basf.com/jp>